2022 年度終了　東京都立大学教育改革推進事業
（【A】組織提案型支援プログラム）取組

１　取組名称

汎用的能力（ジェネリックスキル）養成に固有の達成度評価方法についての探索的実践

２　取組組織名

経済経営学部

３　取組実施代表者名

経済経営学部　経済経営学科　教授　長瀬 勝彦

４　取組年度期間

2020～2022 年度（３年間）

５　取組の概要

本学のディプロマ・ポリシーの中で明記されている獲得すべき学修成果には、専門知識修得だけではなくいわゆる汎用的能力（ジェネリックスキル）の育成の面もある。全学共通科目の場合、知識修得とジェネリックスキルの養成は一定程度両立する余地があるが、専門教育科目の場合は、双方の目的は必ずしも一致しない。本事業は本学経済経営学部における専門教育科目を通じて養成可能なジェネリックスキルに固有の達成度評価方法を探索的に実施し、その経験を学部内に蓄積・共有することを目的とする。

６　事後評価の総合評定

２．９　※審査会（教育担当副学長及び部局長構成）の審査員が行った５段階評価（５～１）の平均点

７　事後評価に関する審査会での主な意見

○達成の測定が難しい「ジェネリックスキルの評価」に関して、試行錯誤的でありながら努力を継続している点は評価できる。とくに専門教育科目を通じて育成されるジェネリックスキルが、外部業者によって実施されるテストを通じて客観化することは難しいが、学部内部での評価を通じては一定の精度で客観化できる可能性があることは興味深い。今後の継続的な取り組みが期待される。

○専門教育科目は、その性質上、「特化された能力」の育成のためのものであり、汎用的能力の育成とは目的がそもそも異なり、要求はあるもののその育成は難しい。本取り組みでは、3 つの一般的なカテゴリーを設定し、教員・学生が共に客観的な評価が可能になることを目指している。PROG テストを利用する際にもオリジナルな問題を組み入

れる等、工夫が見られる。

○専門教育科目を通じてジェネリックスキルを育成することは、他学部の専門教育科目においても期待される点であると考える。本事業で得られた成果を広く周知する機会を持つことを期待する。